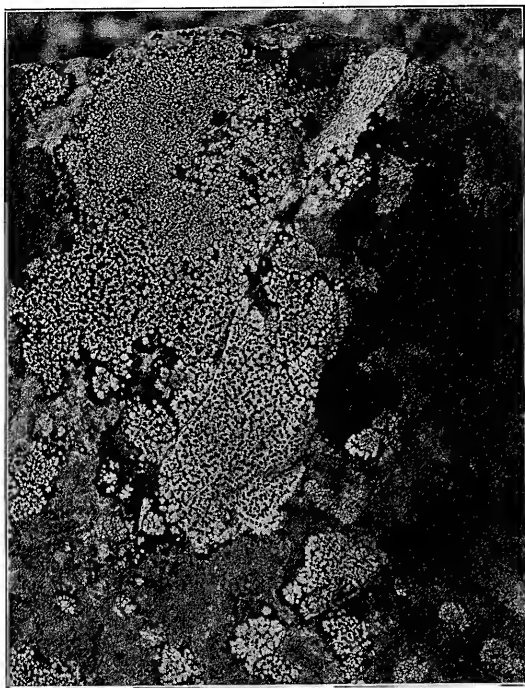


○蕾軒獨語(其十)

蕾軒 朝比奈泰彦

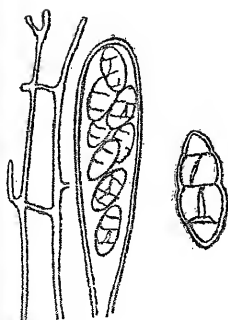
○ちづごけトレカノラ、ゲリタ
衣ハ低地ニハ生ジナイガ高山ニハ普通品デ或人ノ植物採集品目錄中ニ

固着地衣ノ標本トシテイツモ引合ニ出サレルモノハちづごけデアル、此地衣ガアルト其一群ハ高山若クハ準高山物ダナト肯ヅカサレル位ニ標準品トシテ取扱ハレテ居ル、此地衣ハ黃綠色ノ小區劃ヲナセル營養體ト眞黑色ノ子器トガ交互ニ入り交リテ人ノ目ニツキ易ク殊ニ地衣體ノ周圍ニ



(信濃南佐久郡川上村天狗山(約一七五〇米)ニテ大正十五年三月武田久吉博士撮影)

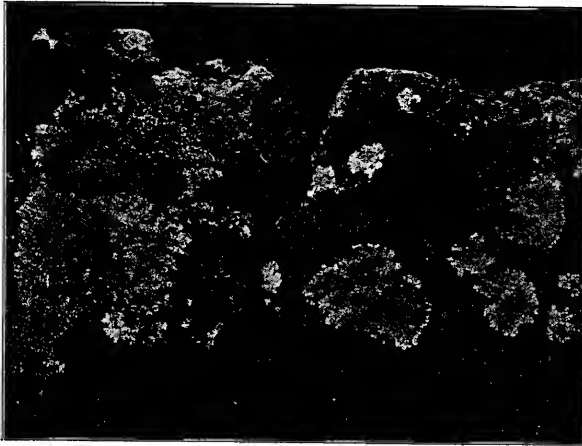
ちづごけ (Rhizocarpon geographicum DC.)



ちづごけノ子囊、絲狀體及胞子
(23-26×10-12μ)

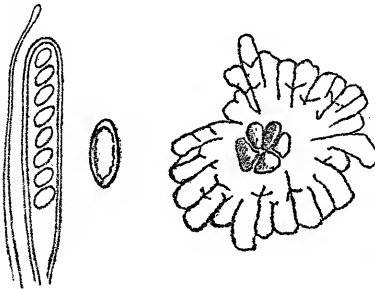
(蕾軒圖寫)

ス(JOHANN
JAKOB DU-
LENUS 一七
二八年頃オ
ナル境界線
ガアルノデ
テイレニウ
體ノ周圍ニ
黑色ノ顯著
ク殊ニ地衣
トガ交互ニ
小區劃ヲナ
セリテ人ノ
目ニツキ易
キヲ殊ニ地
衣體ノ周圍
ニ



(舊軒撮影)

Lecanora gelida (L.) Ach.



Lecanora gelida (L.) Ach.

(左) 子囊、絲狀體及孢子
(13-15×8-10μ)
(右) 中央ニ頭狀體ヲ有スル地衣體

(舊軒原圖)

クスフォード大學植物學教授(ハコレヲ地圖ノ國境ト見立テ「地圖狀ニ畫カレタル黒黃色ノ地衣」即チ *Lichenoides nigro-flavum*, *tabulae geographicae instar pictum* ト呼ビ次々 *Lichen geographicus* L., *Lecidea geographica* SCHAEER. 等ノ名稱ヲ經テ現今ノ *Rhizocarpon geographicum* DC. トナッタ而シテ和名ハ此意譯デアアル、本地衣ノ黄綠色ヲナセル營養體ハ「アルカリ」デモ漂白粉溶液デモ呈色シナイガ沃度溶液ニヨリテ紫色ヲ呈スル又子器ノ縦斷面ヲ檢スレバ絲狀體ハ分歧シ且互ニ連絡シ子囊ハ長圓筒狀デ八子ヲ容レ各孢子ハ褐色 (*Umbrinus*) 乃至眼碧色 (*Caesius*) ヲ呈シ橢圓形デ通常三橫隔アリ更ニ少數ノ縦隔ニヨリ石垣狀ヲ呈スル

レカノラ、ゲリタ *Lecanora gelida* Ach. ハ亦固着地衣ニ屬シ準高山地帯ニ能ク見ルモノデアアル、例ヘバ富士山三合目(大宮口)邊ノ日光ニ暴露セル「ラバ」ノ上ニ幼ナルモノハ徑二三分大

ナルモノハ徑二—三寸ニ達スル灰白斑トナツテ着生シテ居ル、體ノ中央部ハ地物ニ固着シ僅ニ邊緣ノミガ瓣片トナリ略ボ放射狀ヲ呈シ Section Placopsis ノ特徴ヲ示シテ居ル、表面ヲ稍強力ナル「ルーベ」デ窺フト小サナ窩ガあばたノ様ニアル是レハ粉芽體 (Goral) デアル、又子器ハ徑一—一・五「ミリメートル」バカリノ圓板形デ葉體上ニ座シ盤ハ肉色 (Incarnatus) ヲ呈シ縁ハ顯著デアル然シソレヨリモ更ニ特異ナモノハ此地衣ノ中央部ニ在ル淡灰色乃至淡肉色ヲ呈スル頭狀體 (Cephalodium) デアル、此地衣ノ綠顆粒ハ球藻デアルガ頭狀體ノ中ニハ藍藻 (スミス女史ニ據レバスチゴネマ及ビノストク) ヲ含ンデ居ル

○おにばすノ根莖

東北帝國大學理學部助教授 理學士

岡田 要之助

おにばす (*Euryale ferox* Salisb.) ト云フ植物ハソノ葉ノ大キイ點カラ云ヘバ我が邦本土ニ産スル植物中隨一ノモノデ恐ラク世界中デモ有數ノモノト謂ツテヨカロウト思ハレル、ソノ最モ盛シナ發生ヲ遂ゲル富山縣氷見郡十二町潟ニ於テハ大正十一年葉ノ直徑九尺餘、大正十三年八尺七寸、次ニ大正十五年即本年ハ夏期干魃ノ爲メ潟中ノ水ガ減リ鹹水ガ逆流シタ爲メ生長ヲ妨ゲラレタガソレデモ六尺三寸ノ直徑ヲ有スル葉ヲ測リ得タ(九月八日)ト同地的場合富士彦氏ハ報ジヨコサレタ、奇妙ナコトニハ一年オキニ大キナ葉ガ出來ルソノ間ノ年ハイツモ發育惡シクセイゼイ四尺位ト云フコトデアル、牧野先生ノ御話デハ下總國府臺アタリノおにばすモ能ク生エル年ト生エヌ年トガアルトイフコトダシ先日コマロフ先生ガ東京小石川植物園ノ腊葉室ニ見エタ時オ尋ネシタトコロ北滿洲ニ見ルおにばすモ今年生エタ場所ニ來年出ナイトイフコトハ常ニ見ラレル現象デ四五年シテ行ツテ見ルトマタ出テ居ル多分水ノ深イ年ニハ生エナイモノラシイト言ハレタガ私ノ考デハ是等モ矢張り隔年ニ生エテ居ルノデハナイカト思フ、サテ本題ニ立チモドツテ此ノ植物ハ葉ノ輪廓ハはすニ似テ居ルシ、ソシテ此